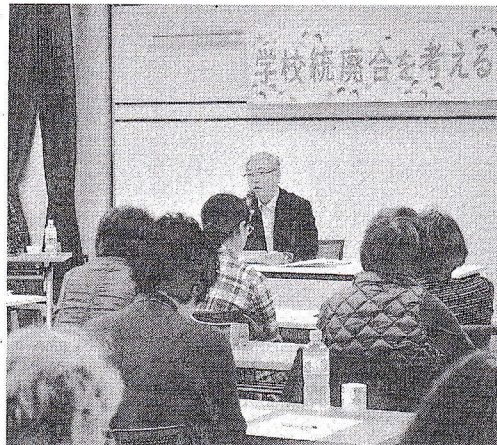


学校統廃合を考える

札幌市厚別区で学習交流会

札幌市厚別区の青葉・上野幌（かみのっぼろ）両小学校の保護者や住民でつくる「青葉小学校と上野幌小学校の『学校統廃合』を考える会」は10日、市が推進する「学校統廃合」を考えようと学習交流会を開きました。

市は「少規模校はクラス替えができません、人間関係が固定化してしまっ」を口実に統廃合を推進。同地域では青葉、上野幌両小学校を再編し、2020年の開設を狙っています。



新保氏の話に聞き入る人たち＝10日、札幌市厚別区

会の土井信博代表は「統廃合は決まったかのよう。市議会で凍結を求める陳情は否決されたが、これからも意

見をいう機会をつくりたい」といいます。全北海道教職員組合（道教組）の新保裕副委員長が報告。「北海道では、学校を中心にした街づくりが行われてきた。市は保護者や住民

と十分話し合い、子どもたちにゆきとどいた教育をどうすれば実現できるのかという観点で考えるべきです」

日本共産党の村上仁市議は「市は推進に前のめりで、国の指針通りで忠実。説明会でも反対の声は圧倒的で、住民と一緒に頑張りた」と語りました。

小2女兒を持つ橋本美香党議候補は「娘が通う学校も、将来は統廃合があるといわれています。全市で統廃合が広がる可能性があり、保護者とやめるべきだと声をあげていきたい」と訴えました。